



スーパー グローバル ハイスクール

佐高 *SGH*通信 2017

No. 13 (2017年7月3日発行)

高1 | SGHリレー講座

第1回SGH地域リーダーズ・シンポジウム ～地域リーダーと語る佐野とグローバル社会の未来～

平成29年6月8日(木) 6,7限目、高校1年生158名と地域のリーダー総勢24名の皆さんが6領域に分かれ、シンポジウムを行いました。生徒たちは、自分たちの課題研究のテーマを見つけようと、講師のお話にも熱心に耳を傾け質問をしました。いよいよ「**佐高発！地域課題研究**」がスタートします。

<各領域のシンポジスト>

- 領域1 災害・公害からの復興・高際澄雄氏(宇都宮大学名誉教授)、長島徹氏(医療法人翼望会長嶋医院理事長)、谷和文氏(佐野市消防団副団長)
- 領域2 自然・生命(医療)・名村栄子氏(佐野市健康増進課成人保健係長)、長野泰恵氏(栃木県安足健康福祉センター健康対策課副主幹)、長島裕子氏(医療法人翼望会理事)、尾花淳美氏(佐野市いきいき高齢課(地域支援事業))
- 領域3 食料・エネルギー・水・島田進氏(佐野市水道局総務課営業係長)、増田喜久男氏(佐野市下水道課施設係長)、関塚学氏(あきやま有機農村未来塾事務局長)、吉田登志幸氏((有)オストコーポレーション北関東代表取締役)
- 領域4 まちづくり・コミュニティ・吉澤章裕氏(空港サービス株式会社代表取締役)、小林隆宏氏(一級建築士事務所代表)、柄澤晃一氏(佐野駅前交流プラザぱるぽーと館長)尾花恵太氏(佐野市役所都市ブランド推進室主任)、池澤智則氏(さのまちづくり株式会社事業グループリーダー)
- 領域5 環境・経済・法律・浅野正富氏(浅野正富法律事務所弁護士)、毛利昭一郎氏(賀茂別雷神社宮司)、亀田泰志氏(まーるかめ農園園長)、海原雅弘氏(佐野市役所観光スポーツ部観光立市推進課山城サミット係主査)
- 領域6 教育・人権・文化・中山昌樹氏(学校認定こども園あかみ幼稚園理事長)、木村豊氏(佐野市立佐野小学校長)、宮地直樹氏(日本クリケット協会事務局長)、松島誠氏(佐野ラグビーフットボール協会副会長)



領域1 災害・公害からの復興

東日本大震災が起きた頃、私はまだ小学校3年生でした。震災から6年たち、震災に対する恐怖心も薄れてきてしまった今、当時の様子を実際に被災地でボランティア活動をした長島先生のお話を聞くことができました。また、谷先生のお話の中にあった近所同士の関わりが減って来たという言葉にもとても共感しました。いつ、どこで起こるかかわからない災害のためにも、コミュニケーションを大切に、近所同士の関わりがあったほうがいいと思いました。“見ず知らずの方々と手を合わせる”という言葉がとても響きました。高際先生のお話をお聞きし、田中正造にゆかりのある佐野市に住んでいることを、とても誇りに感じました。

1年3組 新里愛菜

高齢者の割合が高くなることによって、様々な問題が生じることや、栃木県は自殺予防対策や健診の呼びかけなど数多くの取り組みをしていることに感心しました。また、栃木県の特定健診受診率とがん検診受診率がとても低いことが気になりました。身近な大人の方々に健診を勧めることによって、少しは貢献できるのではないかと思います。未来の自分のために今から生活習慣を見直そうと思いました。 1年4組 大塚涼平



領域2 自然・生命(医療)



領域3 食料・エネルギー

天然資源等が枯渇性のものであることは知っていましたが、水や下水も永久ではないという話にはとても驚きました。「長寿命型」「再生予防型」という型へのチェンジが重要だと感じました。日本の食料自給率は40%と先進国の中でも低いという現状にも関わらず、耕作放棄地が増えています。それに加え、耕作地には獣害もあり、日本の食料問題が危険な状態にあると強く感じました。「エネルギー自給率5%」「日本はエネルギー赤ちゃん」「エネルギーをハーベスティング」という印象的な言葉についてもっと知りたいと思いました。 1年1組 松澤あさひ

佐野市には、佐野市民でもある私も知らない地域活性化イベントがたくさんあることを初めて知りました。ただ、どれだけその事業に力を入れていても、知らない人が多い現状には問題があると思います。活性化のための宣伝力不足が否めない現状を打破する方法を私たち高校生が考え行動することが、課題ではないかと思います。 1年1組 新井真緒



領域4 まちづくり・コミュニティ



領域5 環境・経済・法律

4人の講師の方々のお話を聞きし、今まで知らなかった地域資源が、実はたくさんあったことに気がつきました。ラムサール条約登録湿地（渡良瀬遊水池）や国指定史跡（唐沢山城跡）など、素晴らしい地域資源を活かすことが大切だと思いました。

1年2組 長谷川彪雅

渡良瀬遊水池や唐沢山城跡のことがよくわかりました。なぜ渡良瀬遊水池がラムサール条約に登録されたのかは知らなかったもので、勉強になりました。今回の話を聞いて、まだまだ自分は佐野のことを知らないと思いました。もっと地元のことを知って地域が活性化できるように考えて行きたいです。 1年3組 高山美紀

子供にとって遊びは今後の人生の土台になっているという事が印象に残りました。遊びは、無理矢理やらせるのではなく、楽しみながら自発的にやるから意味があり、自己肯定感などが自然に身に付きます。また、地域の人と学校などが連帯することで人脈が広がり、様々な活動に繋がっている事もわかりました。四人のお話に共通しているのは、ボランティア精神が凄いいことでした。自分のためだけでなく、子供達やスポーツを広めるために行動していて魅力を感じました。 1年4組 有澤音羽



領域6 教育・人権・文化